

牛群検定通信 No45

◇ 検定成績表が変わります ◇

この2月から検定成績表が変更になります。主にボディコンディションを中心とした変更になりますが、その概要をお知らせします。

1 様式A、B、Cの表示

検定成績表の1枚目の右上に、みなさんがご覧になっている検定成績表の様式を表示します。A、B、Cの3通りになりますので、ご確認下さい。

2 検定成績表のWeb配信（様式A、B、C共通）

検定成績表を繁殖台帳Webシステムで閲覧が出来るようになります。このことで、遠隔地でもいち早く検定成績表をパソコンで見ることができるようになります。スマートフォンも利用可能ですが画面が小さいので、実際の閲覧ではiPadが使い易いようです。また、繁殖台帳Webシステムでは検定成績表の発行を携帯電話等にお知らせメールで通知することも出来ます。設定の方法は、増刊牛群検定通信2月号をご覧下さい。

3 各個体のボディコンディション（様式A、B、C共通）

様式AとBでは「個体検定日成績」、様式Cでは「個体の成績」それぞれのBC管理（ボディコンディション）の表示を変更します。変更点は、プラス（+）、マイナス（-）の表示追加です。今月のボディコンディションが、前月または前々月の値と比較して0.5以上の変動があった場合に表示します。

このことにより急激なボディコンディションの変化を把握することが出来るようになります。ボディコンディションは乾乳から分娩後の変化を把握することが最も大切です。乾乳期のボディコンディションスコアを必ず報告するようにしてください。乾乳期は3.50以下（出来れば3.25以下）が望まれます。

4 ボディコンディションスコアの分娩後日数による推移（様式AとBのみ）

様式A Bの1枚目の左下「検定日乳量階層」にBC管理を追加し、産次別にボディコンディションスコアの推移を表示します。このことにより、乳量や濃厚飼料、乳成分値との関係をより明確に把握することが可能となります。

ボディコンディションの乳期を通じての変化は初産と2産以上では異なります。初産の場合は、牛体そのものが未だ成長している関係から2産以上と比べて、ボディコンディションも乳期を通じて安定的なものとなることが多いようです。2産以上におけるボディコンディションは初産牛と比較して、分娩後の削瘦や泌乳後期の過肥の度合いが強くなる傾向があります。過肥は飼料の無駄であることは自明のことですが、過肥牛ほど分娩後に急激に削瘦し、周産期病を罹患しやすいことも知られています。

5 体重とボディコンディション（様式AとBのみ）

様式A Bの1枚目の右中の体重の欄にボディコンディションスコアの平均を追加します。体重とボディコンディションは密接な関係にありますが、イコールではありません。各産次や乾乳期での傾向をつかんでください。